

気鋭の美術家 大岩雄典によるインスタレーション・アートの新展開

十和田市現代美術館 サテライト会場「space」 展覧会

大岩雄典「渦中のP」

2022年7月1日（金） - 9月4日（日）



「渦中のP」ビジュアルデザイン
デザイン：北岡誠吾

十和田市現代美術館では、2022年7月より、アーティスト 目 [mé] が一軒の空き家をホワイトキューブへと改装した作品「space」を美術館のサテライト会場とし、若手アーティストの作品を紹介します。初回となる2022年7月1日（金） - 9月4日（日）は、主にインスタレーション・アートを制作する大岩雄典の個展を開催します。

大岩雄典は、多層な空間と、物語やせりふといった言葉を中心にした作品の制作や、研究、執筆、キュレーション等、多岐にわたり活動する作家です。物語論・言語哲学、フィクション研究、ゲームスタディーズなどの自身の関心領域に留まらず、戯曲、話芸、漫才、ホラーといった様々な言葉の様式を独自の視点から空間に組み込む（インストール: install）ことで、固有の時間感覚をもつ「空間芸術」として提示します。

大岩は美術館での初の作品発表となる本展のために、展示会場であり、目 [mé] の作品でもある「space」と、その周辺の十和田市街の空間が持つ性質を注意深く観察し、これまでの作家の関心であった、ドラマ（劇）、鑑賞者の行為や動線、展覧会の制度との、一種の「地口」を見出します。言葉遊びのような空間の操作は、展示会場である space から十和田市街へ重ねて投影され、観客のパラノイア的な想像を掻き立てるでしょう。

【 本展の見どころ 】

1. 気鋭の若手作家による美術館での新作発表
2. 目 [mé] の作品《space》への応答

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 本展の見どころ 】

1. 気鋭の若手作家による美術館での新作発表

これまで大岩は、ミニマリズムやコンセプチュアリズムのユーモラスな解釈、物語論を逆手にとったテキスト、時事的なトピックを用いた演出によって、情動的な感覚を喚起する空間を生み出してきました。観客に不安を感じさせるほど緻密な動線と伏線を内包する空間は、大掛かりな装置の作品や、華やかなインスタレーション・アートと一線を画した刺激をもたらします。

2. 目 [mé] の作品《space》へ応答

目 [mé] の《space》は、十和田市街の一軒家に十和田市現代美術館の展示室のようなホワイト・キューブの空間を埋め込んだ作品です。目に映る光景に着目し、元あった空間の見え方を一変させる目 [mé] と、言葉を利用して空間体験を「修飾」する大岩は、時に一見外観の似たような作品を制作しますが、その本質は異なります。目 [mé] が《space》で設定した状況に、どのように大岩が応答するかが見どころです。

【 作家プロフィール 】

大岩 雄典 (おおいわ・ゆうすけ)



撮影：中西真穂

美術家。1993年埼玉県生まれ。「空間」というものを、単なる形態を越えて、ゲーム的可能性、他人との親近感、時間との共働、契約や欲望の関係、言葉の効力、歴史・フィクションといった、存在しうる多様な相の織り合わせととらえ、インスタレーション・アート（空間芸術）の形式を再解釈する。わたしたちが他者や物質と、ときに観客や作者と、いかに「居合わせ（contemporary）」なくてよいのかを主題に、たとえば近年は感染症拡大下で変容した空間のありかたに注目して、執筆を含むいろいろな制作をおこなう。

東京藝術大学大学院映像研究科博士後期課程在籍。近作に、カードゲーム・インスタレーション《刑吏たち伴奏たち》(2022)、作家やギャラリー同士の経済関係をジュースに変換した《margin reception》(2021)、ノイズに苛まれる話芸としての「漫才」に着目した《バカンス》(2020)など。

euskeiwa.com

【 パブリック・プログラム 】

アーティスト・トーク

日にち：2022年7月1日（金） | 時間：13:00 - 14:00 | 会場：十和田市現代美術館 カフェ

料金：無料 | 登壇：大岩雄典

※上記の他にも、会期中にパブリックプログラムを予定しています。詳細は後日発表します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、日程や実施内容が変更となる場合があります。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【開催概要】

展覧会名：大岩雄典「渦中のP」

会場：space (青森県十和田市西三番町 18-20)

会期：2022年7月1日(金) - 9月4日(日)

開館時間：10:00 - 17:00

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日) ※十和田市現代美術館の休館日に準じます。

観覧料：無料

主催：十和田市現代美術館

後援：青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、デーリー東北新聞社、東奥日報社、十和田市教育委員会

キュレーター：中川千恵子

space

十和田市現代美術館では、美術館から徒歩約7分のまちなかで「space」を展示室として運営する。アーティスト目[mé]による《space》は、一軒の空き家を大胆に展示室へと改装した作品で、2022年5月まで企画展 Arts Towada 十周年記念「インター + プレイ」展の出品作品の一つとして展示していた。今後は、展示室そのものが作品という特殊な空間である《space》で、若手アーティストによる実験的な表現を紹介していき、これまでにない新たな視点や可能性を見出す場として展開する。

所在地：青森県十和田市西三番町 18-20



目 [mé] 《space》 撮影：小山田邦哉

十和田市現代美術館

2008年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、塩田千春、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができる。

所在地：青森県十和田市西二番町 10-9

TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138 web：www.towadaartcenter.com



お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

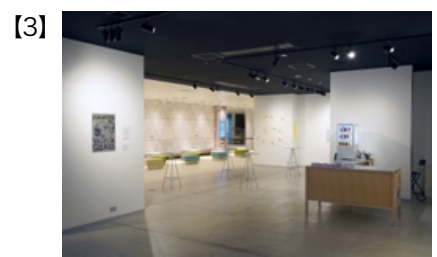
【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

FAX : 0176-20-1138 / E-mail : press@towadaartcenter.com

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

十和田市現代美術館 広報 大谷 行



媒体名 _____

媒体ジャンル 新聞/雑誌/美術誌/テレビ/WEB/その他 (_____)

御社名 _____

御担当者名 _____

所在地 〒 _____

電話 _____

メールアドレス _____

【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com